



強い心と体でねばり強くやりぬく子ども
確かな知識でよく考える子ども
明るくきまりよい子ども
心豊かで思いやりのある子ども

自分も 友達も 大切に

本日より令和2年度の第2学期が始まりました。休み中に登校日がある等、例年とは異なった休業日となりましたが、保護者・地域の皆様には、子どもたちが地域で安心して生活できるようご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。お蔭をもちまして命に関わるような事故等なく、第2学期を迎えることができました。今学期も「新しい生活様式」に則った学校生活を全校で推進し、子どもたちの安全の確保と学びの保障に全職員で取り組んでまいります。

コロナ禍によって、人は相互に依存しているということを多くの方が実感したのではないのでしょうか？自分が健康であれば、隣人の健康にもつながり、逆もまた真なりで、隣人が健康であれば、自分の健康にもつながる。これはマハトマ・ガンディーの「隣人の原理」の考え方で、これからの未来をつくるよりよいシチズンシップ(市民性)に直結するものです。この考えを私は「自分も友達も大切に」という言葉で子どもたちに伝えていきます。コロナ禍をよりよい市民性の素地をはぐくむ機会と前向きに捉え、2学期の教育活動を進めてまいりますので、保護者・地域の皆様のご理解・ご支援の程よろしく願いいたします。

がんばる柏っ子!!

「がんばる柏っ子」の今年度第4回は、テニスの大会で好成績を収めたお友達と、サイロに詩が掲載されたお友達の紹介です。おめでとうございます!!



2020道東ジュニアテニス
トーナメント
女子ダブルス十八歳以下
第三位
六年 さん



サイロ八月号掲載

校長先生は、この詩に感動して泣きそうです・・・

たまねぎサイロ
一年 さん
ママがサイロをよんでいた
そしたらママが
ないちゃった
どうしたのってきいたら
ママはサイロのしに
かんどうしたんだって
はなちゃんはまだに
たまねぎサイロだねってゆったよ

読書は心の栄養

コロナ禍以前の本校では、毎週水曜日の朝を「朝読書の日」としていました。教室をのそくと、どの教室もシーンと静まりかえり、多くの子が本の世界に入り込むとても素敵な時間でした。月に2回ほどボランティアの皆さんによる読み聞かせもあり、子どもたちは大喜びでした。しかしコロナ禍となり、日課の見直しや教育活動の制限のため、それらの活動の実施が難しくなりました。

ただ、これからの社会を担う子どもたちには、読解力が必要です。読書は読解力を育てるために欠かせない学習活動です。人は読書をする頭の中に映像を浮かべます。場面や表情、色彩や想いなどを言葉や表現から想像します。映像や音声による情報が多い現代社会。情報を速く入手することはできますが、想像力や思考力、読解力を高め、心を育てるためには、やはり刊行物から言語で入力することが大切です。子どもたちに読書が自分にとって必要だということを伝え続けたいと思います。今日はテレビ始業式の中で、終業式と同じ言葉を伝えました。「読書は皆さんの脳を育てる心の栄養です」

お子さんのゲームやYouTubeの視聴に使う時間の長さでお悩みのお宅もあることと思います。少しずつでも読書の時間に変換していくよう、学校と家庭で連携した言葉掛けをしていければと考えています。